



スタートして4年目、



次世代を担う学生と企業が協働し、企画・編集。

CSRへの取組みを記載した

「Eblo Report 2013」を

今年も発行しました。



環境学部佐々木ゼミ

「プロジェクトに参加した学生の声」

- 自分の今後の人生においても貴重な財産になると感じました。
- 力不足を感じながらも、日々成長していく自分を実感できました。
- 大学生のうちによく学び、よく経験をすると目標ができました。
- 社会でのコミュニケーション能力の大切さにも気づくことができました。
- 企業の方と交流することができ、自身の成長につながりました。
- 取材にて、私は社内での情報共有の大切さを学びました。
- 学生である私のアイデアが冊子に反映されたことにやりがいを感じました。
- 物事を多面的に見て考える大切さを得られたことは私の財産となると確信しています。



(※) 3年生女子2名、2年生男女6名、計8名がプロジェクトに参加。

Eblo Report 2013 「編集後記」より

ニッセイエプロ株式会社が2010年に国連グローバル・コンパクト (GC) へ加盟して以来、毎年、大学生との協働により企画・編集してきました社会的責任活動の報告書 (COP [Communication on Progress]) も4回目を迎えました。

この「Eblo Report」は創刊時より、GCへの活動報告書であることにとどまらず、「読む報告書より、使う報告書へ」を意識して企画。当社においては、広報ツール、営業ツール、社内報、社内教育ツール、そして最近では新卒採用ツールとして様々なステークホルダーの皆様よりご好評をいただいています。

今回「Eblo Report 制作プロジェクト」は過去3年間と同様、武蔵野大学 環境学部 (佐々木重邦教授/学部長) に協働頂きました (※)。大学生においては研究活動の一環として、また当社にとっては本業に通じたCSRの取組みとして、2013年10月に今期プロジェクトはキック・オフ。以降、幾度も検討を重ねた結果、2014年の当社創業70周年である「エプロ新時代」に向けて今一度、コーポレートスローガンである「つたえる、つながる。」を編集方針と決め、進めてきました。

本プロジェクトは創刊より、当社におけるステークホルダー・エンゲージメントを意識しつつ、全工程にわたって学生が企画・提案し、制作をディレクションするスタイルで行われています。コンセプトメイキングからラフデザイン、レイアウト構成を考え、そして経営トップ、社員へのインタビューやアンケートを実施。その調査を通して取材から原稿案の執筆まで全て学生主導で進行してきました。

そして、私たちは「Eblo Report 2013」をサステイナブルなレポートとして、今年も発行しました。是非、お読みください。

2014年1月

ニッセイエプロ株式会社 グローバル・コンパクト推進委員会